

2/3(水)の発表

はじめよう、つづけよう。

「北海道スタイル」



～新型コロナウイルスに強い北海道をつくる～ 北海道スタイル

報道発表資料の配信日時

2/3(水)

16時00分

発表項目 (行事名)	(速報) 感染性胃腸炎患者等の集団発生について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施場所) 月 日 ( ) 時 分～	発表者	
		発表場所	
概要	<p>○詳細については別紙のとおり</p> <p>◆ (速報) 感染性胃腸炎患者等の集団発生について</p> <p>苫小牧保健所(保育所：27名、ノロウイルス)</p>		
参考			

報道(取材) に当たっての お願い	<p>本公表は、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第16条の規定に基づき、個人情報の保護に留意の上、感染症の発生状況等に関して必要な情報を公表するものです。</p> <p>つきましては、報道に当たって、個人のプライバシー等の保護のため特段のご配慮をお願いします。</p>		
他のクラブ との関係	同時配布	(場所)	
	同時レク	苫小牧保健所	

担当 (連絡先)	保健福祉部健康安全局地域保健課感染症対策係 (担当：山下)		
	電話	(代表)	011-231-4111 (内線25-506)
		(ダイヤルイン)	011-204-5253

# 感染性胃腸炎患者等の発生について

令和3年(2021年)2月3日(水) 16:00

北海道保健福祉部健康安全局地域保健課

TEL: 011-231-4111 (内線: 25-506)

FAX: 011-232-2013

令和3年(2021年)2月2日(火)、苫小牧保健所管内の保育所において、感染性胃腸炎患者及びその疑いのある者の発生を確認しました。

## 記

### 1 発生の探知

令和3年(2021年)2月1日(月)に、苫小牧保健所管内の保育所から、園児及び職員がおう吐、下痢、発熱などの症状を呈している旨、同保健所に通報があった。

### 2 発生の概要

苫小牧保健所管内の保育所の園児25名及び職員2名の計27名が、1月18日(月)から2月2日(火)にかけて、おう吐、下痢、発熱などの症状を呈し、うち20名が医療機関を受診し、治療を受けた。(内1名入院)

### 3 現在の状況

2月3日(水)現在、症状は回復もしくは快方に向かっている。

### 4 経過

1月18日(月)～2月2日(火) おう吐、下痢、発熱などの有症者発生  
2月1日(月) 保育所から保健所に通報  
2月1日(月)～2日(火) 保健所及び医療機関において、有症者のうち5名の便を  
検査した結果、4名からノロウイルスを確認

### 5 感染経路

現在調査中

### 6 対応

苫小牧保健所では、当該保育所に対し、園児及び職員等の健康状況の把握、手洗いの励行及び施設内の消毒、清潔保持等、感染防止対策について指導を行った。

### 7 その他

この件については、本日16時00分、苫小牧保健所においても資料配付を行っています。  
<報道に当たっては、個人のプライバシー等の保護のため特段の御配慮をお願いします。>

## ノロウイルスとは

ノロウイルスとは、世界中に広く分布し、急性胃腸炎の原因の一つとなるウイルスである。  
ノロウイルスの人への感染は、ウイルスに汚染された飲食物を口にすることや、感染者との接触等による二次感染によって起こり、主に11月から3月に集中しているが、一年を通して発生がみられる。

主症状: 吐き気、おう吐、腹痛、下痢、発熱(軽度)

潜伏期間: 24～48時間

経過・予後: 通常3日以内で回復、予後は良好

### 【道内の感染性胃腸炎の集団発生状況】

2月3日(水)現在

	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
件数(件)	151	168	190	188	148	146	56	6
有症者数(人)	3,257	4,031	4,671	4,454	3,019	3,010	1,122	115

\*政令市(札幌市を除く)保健所分を含む。

\*定点医療機関からの感染性胃腸炎患者報告数については、北海道立衛生研究所北海道感染症情報センターホームページにて公開しています。(http://www.iph.pref.hokkaido.jp/kansen/index.html)